

第7回「にしみたか学園コミュニティ・スクール委員会」＜会議録要旨＞

平成19年12月5日（水）
18時30分～20時20分
三鷹市立第二中学校視聴覚室

出席者委員19名（欠席4名）

＜会議要旨＞この会議録は要旨であり、すべての発言が記載されているものではありません。

＜進行＞井口小学校副校長

1 コミュニティ・スクール委員会副会長あいさつ

なぜがはやっているようである。早いもので今年も最後のコミュニティ・スクール委員会になった。この会は、学校の経営方針や予算、人事についての意見を申し述べなくては行けないが、委員自身が勉強していないし、準備も十分ではない。今年は初年度であるから仕方ないにしても、今後は計画的に研修を行い、コミュニティ・スクール委員会がもつ本来の役割を行ない、コミュニティ・スクールの課題について取り組んでいく必要がある。

2 学園長あいさつ（第二中学校校長）

だんだん1月の研究発表会が近づいてきた。これから準備が大変であるが、学園として3校、力を合わせて取り組んでいく。

今年の目玉は学校の授業改善がどのように進められているかであるが、コミュニティ・スクール委員会も大きな見せ場となっている。コミュニティ・スクール委員会は学校運営に参画しなければならないし、どのような活動を行っているのか広めてほしい。

週末、杉並区立桃井第四小学校に視察に行くが、コミュニティ・スクール委員会がどのように機能して、どのような成果をあげているのか、その取り組みをしっかりと見学してきたい。

3 協議会 ＜進行＞コミュニティ・スクール委員会副委員長

（1）各部会からの報告

地域教育部...地域防災について話し合っている。また地域でバザーを予定している。

コーディネート部会

(ア) サポート部...別紙資料2参照 活動状況について

(イ) コミュニケーション推進部...別紙資料3参照 ポータルサイトについて

(ウ) キャリア教育部...別紙資料4参照 6年生の職場訪問について

委員

昨年度、二小と井口小に同じ数の職場訪問先を用意したところ、井口小は人数が少ないので、いろいろ準備して下さった先で、あっという間に質問がなくなり相手先にご迷惑をかけた経験がある。できれば訪問する人数はあまり少なくならないよう調整してほしい。

委員

訪問先からそれに対して苦情があったのか。

委員

苦情はないが、サポート隊として申し訳なく感じた。調整できる場所はお願いしたい。

評価部会...資料5参照 学校評価のアンケート用紙を配布した。地域、保護者の回収率を上げたい。

(2) 学園情報...副学園長(第二小学校校長)

- ・中学校では期末テストが終わり、高校入試に向かっている。小学校との交流として、落ち葉はき、ふれあいボランティア、ユニセフ募金等を計画している。
- ・小学校では学芸会があった。二小は久しぶりの学芸会で大勢の方に鑑賞していただいた。井口小にもたくさんの方が来校されたと聞いた。感謝申し上げる。今は午後個人面談を行っている。
- ・3校及び地域の連携として二小は12/1、井口小は12/8に餅つきがある。また二中の家庭教育学級を12/15に行うが、その会に二小の吹奏楽クラブ、井口小の合唱サークルが参加する。本当にいい連携がとれている。

(3) 協議

研究発表会準備委員会から 資料6参照

委員

コミュニティ・スクールの様子を実際見たうえで、学校運営そのものにコミュニティ・スクール委員会がどのように関わっているのかを研究発表会のシンポジウムで話す機会はあるのか。

委員

コミュニティ・スクール委員会に対して委員の中でも共有する意見がまとまっていない話はする。しかしコミュニティ・スクール委員会が今のところ、果たすべき役割を果たしていないこの状態をどこまで話すかが難しい。聞いている人もイメージが湧かないと思う。

委員

資料の中の金子先生の話が「...全国のコミュニティ・スクールや小・中一貫教育校での事例を...」とあるが、これは分けて話をするということか。

委員

深い意味はない。自分たちの中でまだにしみたか学園というイメージが一定ではない。そのためコミュニティ・スクール委員会がどんな可能性があるのか、また全国の小・中一貫教育校ではどんな事例があるのかについて金子先生にお話をさせていただく。

委員

コミュニティ・スクール委員会は、地域に開かれているとかサポート隊についても委員の意見が一致していないが、それでも研究発表をしてもいいのか。

二小副校長

にしみたか学園はまだ歩き出したばかりである。まだコミュニティ・スクール委員会としての方向性は見えていないが現状から課題を見つけ出し、よい方向にもっていきたい。またそのための研究発表準備会も立ち上げた。

学園長

まだ出来たばかりのコミュニティ・スクールであるし、コミュニティ・スクール委員会でもある。それぞれ皆さんが当事者意識をもって話し合いを進めてほしい。

委員

コミュニティ・スクール委員会として研究紀要に取り組みや成果と課題について記載する。

掲示物の原稿締め切りは12/14、紀要の原稿締め切りは12/20となっている。提出先は先月の資料を確認し期日厳守でお願いしたい。

にしみたかファンド検討委員会から 資料7

副会長

なぜファンドを立ち上げるのかということをつきつめるとコミュニティ・スクール委員会とは何か、コミュニティ・スクール委員会の活動とは何かということにつながる。もっとコミュニティ・スクールをサポートしたいとか、研究発表会を充実させたいといういろいろな思いがあった。

結論から言うと、現時点ではコミュニティ・スクール委員会の中で、お金を使うファンドは立ち上げることは出来ない。一時検討を見送る。

現状を調べてみるといろいろな条例や制度に不備があることが分かった。今までコミュニティ・スクール委員会がお金を使うことを発想していなかった。三鷹ではこれから全ての中学校区がコミュニティ・スクールになるのに、使えるお金がないのでは活動ができない。制度を変えていくしかない。

にしみたか学園は小・中一貫教育校のモデル校として制度改革を進めていく必要がある。今後は教育委員会に働きかけていく。

委員

教育委員会は条例や制度を変更する予定はあるのか。

副会長

そのようである。ただ一部分だけ直すわけにはいかないの、全体を見直す必要があるため、時間がほしいと言っている。

学園長

にしみたか学園のコミュニティ・スクール委員会の会則にお金を集めるという想定がなかったので今後会則を改正することも必要である。また任意団体がお金を集めることは何の問題もないが、そのお金を学園が受け取ることは条例・制度上できない。

委員

このように活発に活動しているのであるから、これからも動きやすいようにしていただきたい。

4 その他

(1) 学校視察...12月7日(金) 杉並区立桃井第四小学校
急な用件の時は井口小 副校長まで連絡を

(2) 「学校教育と地域の教育力に関するアンケート」の依頼...別紙参照

(3) 研究発表会について

サポート隊やゲストティーチャーがたくさん参加する。ご協力よろしく。

次回コミュニティ・スクール委員会は1月15日(火) 18:30 第二中
資料は1月8日までに井口小副校長に送る。